

新内藤川 広域河川改修事業

河川概要

新内藤川流域は斐伊川と神戸川に挟まれた出雲平野を流域とし、上流部には出雲市の中心街が広がり、中流部から下流部には水田地帯の中に住宅地が点在している。元々農耕地排水路であり、川幅が狭く、河床勾配が緩いため、近年の都市化の進行により被害が拡大し、浸水被害がたびたび発生している。

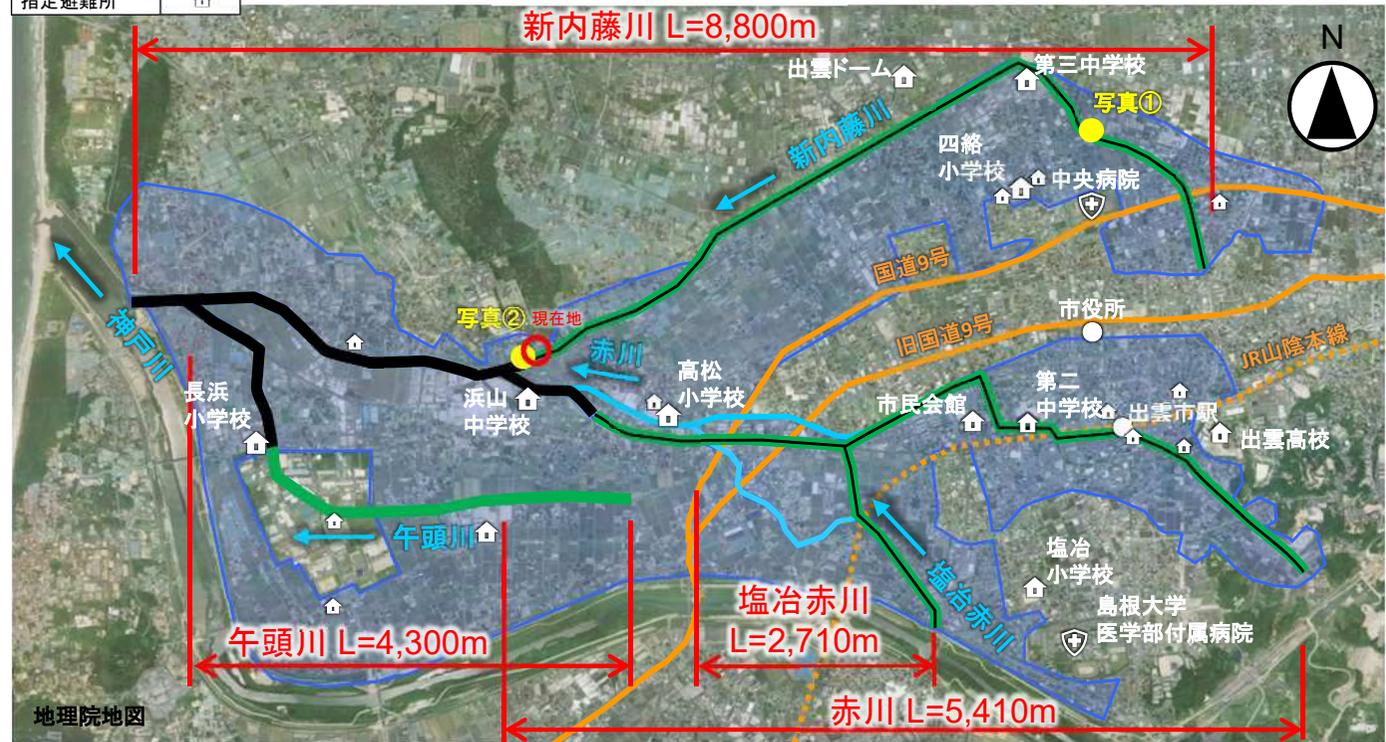
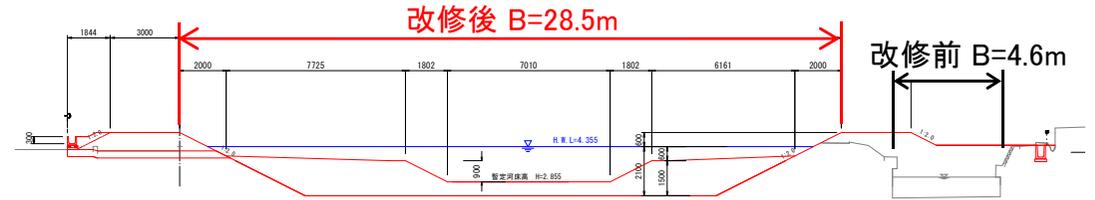
昭和39年7月及び昭和47年7月豪雨を受けて、昭和60年に河川改修に着手した。

事業概要

- 概ね50年に1回（午頭川は30年に1回）の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させるため、築堤、掘削などの河川改修を行う。
- 河床掘削により環境への影響を最小限に抑えるとともに、土堤護岸を基本とした多自然川づくりを図る。



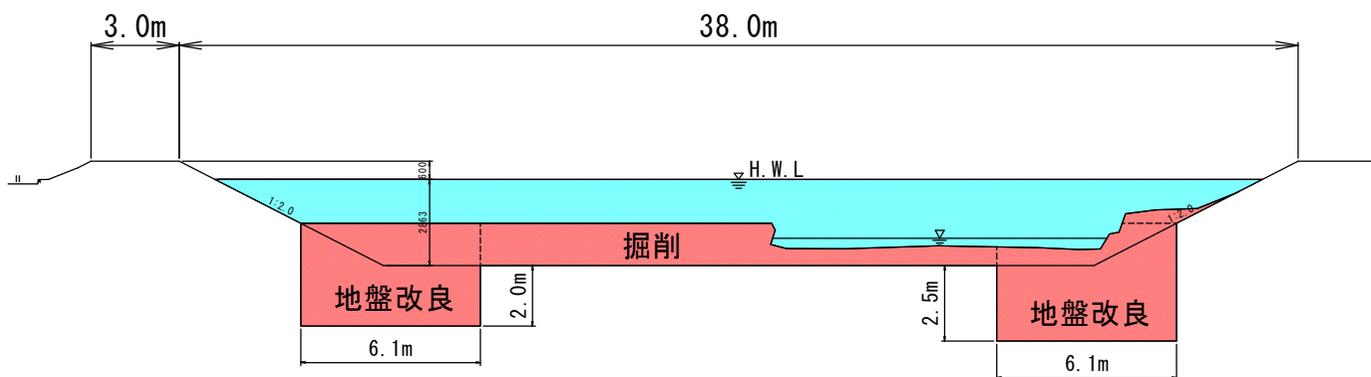
新内藤川 標準断面図	
凡例	
改修済区間	■
未改修区間	■
想定氾濫区域	□
指定避難所	🏠



○現在の整備状況



○施工中の断面図



○対応方針

総事業費	466.67億円
進捗率	77%
完了年度	令和20年度
費用対効果	12.38
対応方針	継続